



# りす はとだより

展覧会特集号

令和6年11月26日  
港区立本村幼稚園  
担任 入江 志奈子  
齋藤 有紀恵

いよいよ明後日は子どもたちが楽しみにしている展覧会です。

展覧会では、子どもたちが心を動かした経験をもとにし、様々な素材や技法にふれて自分らしく表現することを楽しむことができるよう、取り組んできました。4, 5歳児同じ題材でも、それぞれの年齢の発達に合った方法で取り組むことを通して、「りす組さんのはかわいいね」「はと組さんはちょっと難しそうなおことをしてすごいね」等、互いの作品に興味をもつ姿も見られました。

また、年長児が中心になって取り組んだ「ほんむら あき ゆうえんち」では、友達と同じ目的に向かって思いや考えを出し合いながら、力を合わせて取り組んできました。地域の保育園の5歳児の友達が遊びに来てくれることになり、それぞれ役割分担をして、お客さんの案内にも取り組みます。

当日は、子どもたちが一人ひとり表現することを楽しんだ個人作品、友達と力を合わせて取り組んだ共同作品、また保育園の友達と関わる姿をご覧いただけることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 個人作品について

どの作品も、幼児が心を動かした経験や、楽しんでいること、興味をもっていること等を題材にし、自分らしさや思いを表現できるようにしました。

4歳児は、クレパスや画用紙など、今まで使用してきたものや、身近な素材を中心に、絵の具やスタンプなどいろいろな製作用具や技法を使って、伸び伸びと表現することを楽しみました。



5歳児は、これまでの経験を活かしながら、よく見たり、工夫したりして取り組みました。「こんな風に作りたい」と自分の思いをもち表現することや、本物らしく描いたり作ったりすることも意識して取り組みました。



上手に作れているか、描けているかではなく、「どのように楽しみ、頑張って取り組んだのか」を想像したり、お子さんに聞いたりしながら、一人ひとりの表現を受け止め楽しんでいただきたいと思います。

それぞれの作品については、解説文をご覧ください。

## 4・5歳児共同制作「ほんむら あき ゆうえんち」について

### あらかわ遊園への遠足での経験

10月に遠足で行った「あらかわ遊園」では、友達と一緒にいろいろな乗り物に乗って楽しみました。帰り道から「楽しかったね」「私はファミリーコースターが楽しかった」「僕は豆汽車が楽しかった」「また行きたいね」という声があちこちから聞かれました。

### 幼稚園でも遊園地ごっこをしよう！

翌日も、登園してすぐ「昨日楽しかったね」と話していた子どもたち。そこで「すごく楽しかったから、幼稚園でもゆうえんちごっこしようよ！」という話になり、思い思いに楽しかった場を作り始めました。大型積み木など、今まで使っていた遊具で作ってみる幼児や、「段ボールで作ってみたいから、段ボール箱を出してほしい」と教師に新たな材料を相談にくる幼児、「豆汽車だから動かせるようにしたい」とどうすればよいか一生懸命考える姿もありました。動かせるようにしたいという幼児には、新たにキングブロックという遊具を出して動く乗り物を作ることができるようにし、それぞれ自分なりに考えてジェットコースター、豆汽車、ウォーターシューティング、メリーゴーランドなどの乗り物を作って自分たちで乗ったり、友達を乗せてあげたりし、楽しかった遠足の経験を遊びの中で再現することを繰り返し楽しみました。

また、キングブロックを使って動かせる乗り物を作ったことで、最初は積み木や段ボール箱で作っていた友達も、「自分たちも動かせるようにしたい」と刺激を受け、交代でキングブロックを使ったり、途中まで作った段ボール箱を台車に付けて動かせるようにしたりするなど、より本物らしくしたいという思いから、遊びが発展していきました。



### 展覧会でも遊園地を作りたい！お客さんも呼びたいね

ちょうどカレンダーが11月になり、子どもたちに展覧会のことを知らせました。すると昨年のことを覚えているはと組は、「りす組のときにおばけ遊園地を作ったんだ」と教えてくれました。知らない友達もいるので、「豆汽車を作ってお客さんを乗せてあげたんだよ」と知っている子が熱心に伝えていました。教師が「そうなんだね。みんなも今ちょうど遊園地ごっこを楽しんでいるから、お客さんにも遊ばせてあげたら楽しそうだよ」と話すと、「やりたい！！」との反応が返ってきて、展覧会で遊園地を製作することに決まりました。

まずははと組で相談し、遊んでいる乗り物の中からメリーゴーランドとジェットコースターの2つの乗り物を作ることに決め、グループに分かれて作ることにしました。今までの遊びの中で、作り楽しんだ経験から、メリーゴーランドはキングブロックで、ジェットコースターは段ボール箱と台車を使って作ることにしました。「お客さんが来るから、もっと本物らしくして、素敵にしたいよね」「すぐに壊れないように、丈夫に作りたいよね」と、翌日から早速グループに分かれて製作を始めました。



### <ジェットコースターグループ>

それまで段ボール箱と台車で動かせるようにして楽しんでいましたが、相談の中で「もっと早くなるようにしたいんだよね」「高いところとか、低いところがあるようにしたい」とよりジェットコースターらしくスリルを楽しめるようにしたいという思いが出てきました。何をを使えばよいかいろいろと考え、「そうだ！滑り台を使えばいいんじゃない？」というアイデアが出てきて、段ボールと台車に加えて滑り台を利用して、速さや高低差が出るようにしようという話になりました。「トンネルとかあったら楽しそう」と、すずらんテープを使って葉っぱのトンネルも作ることにしました。

段ボール箱をどのように装飾するかという相談では、「虹の色に塗りたい」という話になり「虹って何色があるっけ」「色の順番はどうする？」と疑問が出てきました。タブレットで虹について検索すると、色や順番が決まっていることが分かり、「この順番にしよう！」と赤⇒オレンジ⇒黄色⇒緑⇒青⇒紺⇒紫、の順番で塗ることに決め、ぴかぴか絵の具という耐水性の絵の具で塗りました。「いい感じ！」「葉っぱとかつけたいね」と秋の葉っぱも作って貼りました。

滑り台や巧技台も自分たちで高さや大きさを考えながら組み立て、ガムテープで補強をしました。すぐにでも遊びたい子どもたちでしたが、台車や滑り台を使用するため、「楽しくても、きちんと準備をしないと怪我をしてしまうよね」と伝え皆で念入りに安全対策をしてから、いよいよ試運転をしました。滑り降りる際には「キャー」と歓声をあげ、「楽しい～！」「もう一回！」と大喜びでした。



### <メリーゴーランドグループ>

キングブロックで作ることはすぐに決まりましたが、何の乗り物を作るかの相談では、とても悩んでいました。「私が乗ったのは〇〇だった」「でもパンダや馬車も可愛かったし…」となかなか決まらずにいたので、タブレットで遠足の写真を見ながら相談し、お客さんの目線でも考えた結果、馬とイルカの乗り物を作ることに決まりました。キングブロックで作るので絵の具で塗ることは難しかったため、カラービニールで装飾することにしました。空き箱を組み合わせたか、丸くしたいところは新聞紙を詰めてからカラービニールをかぶせて貼り、馬とイルカの形を作りました。馬の耳や毛は、ふわふわした感じになるようフェルトや毛糸を使いました。

柵もキングブロックで作り、キラキラテープで装飾をしました。最初と最後の合図のベルや、乗っている間の音楽も相談して決め、素敵なメリーゴーランドができました。後ろから押して動かすため、最初はコツや加減がつかめず柵にぶつかりそうになることもありましたが、りす組やはと組の友達を何度も乗せてあげるうち、上手に押せるようになってきました♪



### りすぐみさんも一緒に作ろう

プレイルームではと組が遊園地を製作している姿を見て、りす組も「楽しそうだね」と話していました。「りす組も一緒にやりたいね」「何かお手伝いすることある？」と聞いてみると「秋の遊園地だから、秋の葉っぱをたくさん作って飾るのを手伝ってくれる？」との返事。早速、芋スタンプを使って、秋の素敵な葉っぱを作りました。はと組に「ここに貼ってくれる？」と言われたところに、くるりんテープ(接着面が外側になるようにテープを丸めることを『くるりんテープ』と呼んでいます)を作り、頑張ってたくさん貼りました。「すごく秋らしくなった！」「ありがとう」とはと組にお礼を言われりす組もとっても嬉しそうでした。



こうして完成した「ほんむら あき ゆうえんち」。明日は、先日交流をした本村保育園の5歳児のお友達遊びに来てくれ、はと組が係員として案内し、りす組はお客さんとして楽しめます。緊張したり、慌ててしまったりする姿もあるかと思いますが、自分の役割を意識して取り組む姿を温かく見守っていただけたらと思います。